

**平成24年度
教育委員会点検・評価報告書
(平成23年度実績)**

平成25年3月

鳥羽市教育委員会

目次

点検及び評価の概要	1
点検及び評価の構成	1
平成23年度実績評価一覧及び目次	3
1 教育委員会の活動	4
教育委員会の活動に対する意見	10
2 教育委員会が管理・執行する事務	11
教育委員会が管理・執行する事務に対する意見	14
3 管理・執行を教育長に委任する事務	
A 学校教育に関すること	15
学校教育に関することに対する意見	20
B 生涯学習に関すること	21
生涯学習に関することに対する意見	29

中項目・小項目の頁はP 3に記載

点検及び評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する方の知見を活用した点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされています。

そこで、教育委員会では、法の趣旨にのっとり、効率的かつ効果的な教育行政の推進を図るとともに、教育委員会の責任体制の明確化を図り、市民の方々への説明責任を果たすために、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行い、報告書として作成しました。

点検及び評価の構成

1) 項目

点検・評価は、「1 教育委員会の活動」、「2 教育委員会が管理・執行する事務」及び「3 管理・執行を教育長に委任する事務」の3つの大項目を基本として必要に応じて細分化し、中項目、小項目合わせて32の項目に整理し、項目ごとに点検・評価を行いました。

2) 目標

目標は平成20年度鳥羽市教育目標を基に、大項目「1」と「2」については大項目ごとに、「3」については小項目ごとに目標を掲げました。

3) 取り組みの概要

各項目の目標達成に向けて、平成23年度に実施した主な取り組みを示しています。

4) 評価

平成23年度の取り組みをふまえ、進捗状況や今後の課題等を項目ごとに評価をし、ランク付けを行いました。評価の判断基準は次のとおりです。

評価	判断基準
A	目標を達成している
B	一定の成果はあるが取り組みを強化する必要がある
C	一定の成果はあるが改善の必要がある
D	成果がほとんど上がっておらず見直しの必要がある

5) 鳥羽市教育委員会委員名簿

平成24年3月31現在

	氏名	職業等
委員長	大松 正嗣	会社役員
委員	関戸 くみ子	元大里婦人会長
委員	島田 瑞穂	児童保護者
委員	山下 隆広	会社役員
教育長	斎藤 陽二	元中学校長

6) 外部からいただいたご意見

点検・評価結果に対して外部の方々のご意見を、大項目「1」と「2」については大項目ごとに、「3」については中項目ごとにまとめていただきました。ご意見をいただいた方は、次のとおりです。

氏名(敬称略)	役職等
川村 光徳	前鳥羽市教育長
竹内 久	自営業
吉田 真裕美	看護師

平成 23 年度実績 評価一覧及び目次

大項目	中項目	小項目	評価	頁	
1 教育委員会 の活動	(1) 教育委員会の会議	開催状況	A	4	
		運営上の工夫		6	
	(2) 教育委員会と事務局との連携		B	6	
	(3) 教育委員の自己研鑽		B	6	
	(4) 広報・情報公開		A	7	
2 教育委員会 が管理・ 執行する 事務	(1) 市教育行政の教育目標を定めること		A	10	
	(2) 学校その他の教育機関の設置、廃止及び変更に関すること				
	(3) 教科書その他の教材の取り扱いに関すること		A		
	(4) 教職員の人事に関する基本方針に関すること				
	(5) 事務局および学校その他の教育機関の職員の任免その他人事に関すること				
	(6) 委員会の規則等の制定又は改廃に関すること		A		
	(7) 主な工事の執行及び計画に関すること		B	11	
	(8) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第27条第1項の規定による点検及び評価に関すること			12	
3 管理・執行を 教育長に委任する 事務	A 学校教育に関する こと	[目標] 自ら学び、考える力をもつ子どもの育成	B	13	
		[目標] 豊かな心をもつ子どもの育成	B	14	
		[目標] 健やかな心身をもつ子どもの育成	B	15	
		[目標] 信頼される幼稚園・学校づくりの推進	B	16	
	B 生涯学習に関する こと	(1) 社会教育の推進	生涯学習の推進(公民館事業)	B	18
			” (放課後子どもプラン)	B	19
			青少年の健全活動を推進	B	
			文化活動の振興、文化財の保護	B	20
			図書館事業の推進	B	22
			人権教育の推進	B	23
		(2) スポーツ活動の推進	生涯スポーツの推進	B	24
			スポーツ施設の充実・管理	B	25
(3) その他		B	26		

評価 判断基準

- A …… 目標を達成している
 - B …… 一定の成果はあるが取り組みを強化する必要がある
 - C …… 一定の成果はあるが改善の必要がある
 - D …… 成果がほとんど上がっておらず見直しの必要がある
- 実績のないもの及び評価が困難な項目については「 」とする

1 教育委員会の活動

[目標]

開かれた教育行政の実現に努める。

教育委員会、事務局、学校その他教育機関の連携を密にし、情報・意見交換を積極的に行う。

教育委員としての自覚を持ち、研修に努め、重要かつ基本的な事務処理を適切に行う。

(1) 教育委員会の会議

開催状況（開催数、議案件数、議案件名、主な協議件名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定例会 (議案)	1 (12)	1 (5)	1 (1)	1 (2)	1 (3)	1 (0)	1 (0)	1 (1)		1 (9)	1 (4)	1 (6)	11回 (43件)
臨時会 (議案)									1 (3)		1 (1)		2回 (4件)

4月定例会 (H23.4.26)	議案	鳥羽市学校内科医の解嘱について
		鳥羽市学校耳鼻科医の解嘱について
		鳥羽市学校歯科医の解嘱について
		鳥羽市学校眼科医の解委嘱について
		鳥羽市学校薬剤師の解委嘱について
		鳥羽市中心身障害児就学委員会委員の解委嘱について
		鳥羽市立学校評議委員の解委嘱について
		鳥羽市体育指導委員の委嘱について
		鳥羽市学校体育施設開放運営委員会委員及び管理指導員の解委嘱について
		鳥羽市公民館長及び主事の解任命について
		菅島コミュニティアリーナ館長の解任命について
鳥羽市文化財調査委員の委嘱について		
5月定例会 (H23.5.23)	議案	平成23年度6月補正の意見申出について
		鳥羽市青少年サポートセンター指導員の委嘱について
		鳥羽市社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱について
		鳥羽市放課後子どもプラン運営委員の委嘱について
	鳥羽市スポーツ振興審議会委員の委嘱について	
その他	鏡浦中学校の統合について	
6月定例会 (H23.6.24)	議案	鳥羽市公民館主事の解任命について
	その他	鏡浦中学校の統合について
7月定例会 (H23.7.28)	議案	平成24年度使用小学校用教科用図書の採択について
		工事請負契約の締結についての意見申出について
	その他	鏡浦中学校統合について

8月定例会 (H23.8.24)	議案	平成23年度9月補正の意見申出について
		鳥羽市公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例についての意見申出に付いて
		鏡浦中学校の統合について
9月定例会 (H23.9.22)	その他	平成23年度建設事業執行状況について
		県指定史跡鳥羽城跡石垣測量調査業務中間報告について
		平成23年度「三重の教育談義」について
10月定例会 (H23.10.26)	その他	鳥羽市民文化祭について
11月定例会 (H23.11.22)	議案	平成23年度12月補正の意見申出について
12月臨時会 (H23.12.26)	議案	平成24年度教職員人事異動基本方針について
		平成24年度全国学力・学習状況調査に関する鳥羽市における実施要綱について
		鳥羽市が設置する公の施設からの暴力団排除措置要綱の制定について
	その他	鳥羽市奨学金貸与制度について
1月定例会 (H24.1.25)	議案	鳥羽市学校設置条例の一部を改正する条例についての意見申出について
		鳥羽市コミュニティアリーナの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例についての意見申出について
		就学等に関する規則の一部を改正する規則について
		鳥羽市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について
		鳥羽市コミュニティアリーナの設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について
		鳥羽市スポーツ振興審議会条例の一部改正についての意見申出について
		委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正についての意見申出について
		鳥羽市学校体育施設の開放に関する規則の一部改正について
	鳥羽市体育指導委員に関する規則の一部改正について	
その他	神島小中学校の建設について	
2月定例会 (H24.2.20)	議案	平成24年度当初予算(教育予算)の意見申出について
		鳥羽市教育委員会指定文化財の指定(追加)について
		鳥羽市文化財保護規則の一部改正について
		就学等に関する規則の一部を改正する規則について
	その他	鳥羽市教育委員会点検・評価報告書について
		鏡浦中学校の統合問題について
		鳥羽東中付近施設整備について
2月臨時会 (H24.3.1)	議案	平成24年度鳥羽市教職員人事異動について

3月定例会 (H24.3.26)	議案	鳥羽市教育委員会事務局処理規則の一部改正について
		鳥羽市立学校施設の使用に関する規則の一部改正について
		鳥羽市教育委員会事務決裁規程の一部改正について
		平成24年度鳥羽市教育委員会職員人事異動について
		鳥羽市社会教育指導員の任命について
		平成23年度(平成22年度実績)教育委員会点検・評価について
	その他	旧鳥羽小の耐震診断結果について
		平成24年度入学式・入園式について
		鏡浦中学校の統合問題について

【議決の状況】 (付議事項数: 62件)	件数
教育に関する事務の管理及び執行の基本方針	5件
教育委員会規則、規程等の制定・改廃	11件
学校及びその他教育機関の設置及び廃止	0件
教育委員会職員等の任免等	2件
協議会・審議会委員等の任免・委嘱	17件
教育委員会事務の点検・評価	2件
議会提出議案に関する意見	10件
教科用図書の採択	1件
通学区域の設定・変更	6件
文化財の市指定	1件
その他	7件

運営上の工夫

教育委員の活動を通して、教育全般に対する問題提起や懸案事項などについての意見・情報交換を行うとともに、議案としての審議項目の提案などを積極的に行っていく取り組みを進めた。

評価

A

(2) 教育委員会と事務局との連携

議案審議が十分に行えるよう、事務局は資料収集・情報提供に努めるとともに、更に教育委員との連絡調整を密にし、適宜協議が図れるよう努めた。

評価

B

(3) 教育委員の自己研鑽

研修会への参加や時報「市町村教委」を定期購読し、自己研鑽に努めるとともに各学校へ出向き、子ども達とのふれあいや教職員との意見交換を行った。
また、各委員が研修会、学校訪問、講演会等の参加記録をつけ、今後の取り組みにおける参考資料として活用した。

(研修会、鳥羽市小中学校の発表会等は次のとおりです。)

開催日	内 容	場 所
H23.11.8	鳥羽市小学校音楽祭	市民文化会館大ホール
H23.11.11	鳥羽市中学校音楽祭	市民文化会館大ホール
H23.11.17	鳥羽市教育委員会指定研究発表 会	鏡浦小学校
H23.11.18	平成23年度三重の教育談義 「子どもたちの輝く未来づくり に向けた総力の結集」	三重県文化会館中ホール
H23.11.28	鳥羽市小学校人権フォーラム	鳥羽商工会議所かもめホール
H23.12.5	鳥羽市中学校人権フォーラム	鳥羽商工会議所かもめホール

各学校等における行事、各種研修会及び研究発表会等に出席し、子ども達とのふれあいや教職員との意見交換を通じて、現場の状況を身近に感じながら、課題解決への手がかりにつなげるとともに、独自の状況分析より今後の教育のありかたなどを検証することができた。

評価

B

(4) 広報・情報公開

情報公開請求に対する情報の公開を行った。

・行政情報の公開状況

件数	全部公開	部分公開	不受理
35	35		

・個人情報公開請求はありませんでした。

防災行政無線を活用し、各種事業のお知らせ、啓発活動を行った。

鳥羽市ホームページのトップページにおいて、告知を行った。(下記19件)

掲載日	所管課	内 容
H23.4.1	生涯学習課	図録『九鬼嘉隆』の頒布のお知らせ
H23.5.1	生涯学習課	第10回地球塾生の募集について
H23.5.19	生涯学習課	地球塾公開講座の開催について
H23.7.1	生涯学習課	鳥羽中央公園水泳プール開設について
H23.7.8	図書館	図書館の蔵書検索について
H23.7.11	生涯学習課	平成23年度 第55回三重県中学校相撲大会について
H23.8.31	生涯学習課	第7回鳥羽市ゴルフ大会延期について
H23.9.16	生涯学習課	企画展「大築海海人」展開催のお知らせ
H23.9.21	生涯学習課	鳥羽市民大運動会
H23.10.12	生涯学習課	鳥羽城跡(第6次)発掘調査現地説明会開催のお知らせ
H23.10.25	生涯学習課	鳥羽市民文化祭での三田太鼓特別出演について
H23.10.26	生涯学習課	第30回伊勢志摩中日ウォークについて

H23.10.26	生涯学習課	美し国三重市町対抗駅伝鳥羽市代表選手選考会について
H23.11.2	生涯学習課	第36回鳥羽市民文化祭について
H23.12.2	生涯学習課	門野幾之進記念館の展示リニューアルについて
H23.12.2	生涯学習課	平成24年鳥羽市成人式について
H23.12.28	生涯学習課	年末年始の伊良子清白の家の開館について
H23.12.28	生涯学習課	年末年始のスポーツ施設休みのお知らせ
H24.3.16	図書館	図書館インターネット予約のご案内

広報とばによる情報発信を行った。

掲載月	担当課	内容・件数
4月1日号	生涯学習課	・お知らせ 1件
5月1日号	総務課	・お知らせ 1件
10月1日号	生涯学習課	・第53回市民体育大会参加者を募集
11月1日号	総務課	・平成24年度幼稚園児、預かり保育園児の募集
1月1日号	生涯学習課	・第15回「海の香りのする詩」の受賞作品について ・お知らせ 1件
2月1日号	生涯学習課	・第5回美し国三重市町対抗駅伝について
連載 (上記以外)	生涯学習課	・人権文化の花を咲かせよう (vol.105~116) ・鳥羽のお宝再発見! (vol.27~34) ・鳥羽を歩く散策案内図まちなみイラストマップ (vol.2~8) ・図書館だより

行政放送による情報発信を行った。

放送日		所管課	タイトル
5月1日 ~5月15日	お知らせ	生涯学習課	地球塾の活動紹介と塾生募集のお知らせ
9月16日 ~9月30日	お知らせ	図書館	図書館の蔵書検索について
	お知らせ	生涯学習課	市民大運動会にご参加ください
10月1日 ~10月15日	お知らせ	生涯学習課	市民体育大会が開催されます
11月1日 ~11月15日	特集とば	総務課	平成24年度 幼稚園入園募集・預かり 保育の園児募集
2月1日 ~2月15日	お知らせ	生涯学習課	第5回美し国市町対抗駅伝大会へ ご声援を
2月16日 ~2月28日	お知らせ	生涯学習課	第12回鳥羽市子どもフェスティバル へご参加ください
3月16日 ~3月31日	お知らせ	生涯学習課	第5回美し国市町対抗駅伝大会の 結果について

上記は「お知らせ」7件、「特集とば」1件、そのほか「文字放送」64件あり 計72件

各種事業のお知らせや啓発活動について、広報とばや行政放送等を通じ、より充実した広報活動を行うことができた。今後は、教育委員会のホームページを充実させ、いろいろな情報をわかりやすく発信できるよう取組みたい。行政情報の公開については、学校建設関連のものが大半であり、その他各施設の修繕工事関係の情報公開請求が多くあった。

評価

A

教育委員会の活動に対する意見

- ・教育委員会の定例会においては、教育の課題が議題として提案されており、評価できる。特に、「その他」の議題で中学校の統合問題や中学校付近への学校施設以外の施設整備についての課題などが取り上げられ具体的な取り組みなどが報告され議論していることは評価できる。しかし、前年度まで、点検評価において意見した将来を見据えた統合等に関するビジョン創りや、教育委員会が目指すべき項目などについての議論をした様子がみえてこないのが残念である。
- ・点検評価のあり方や位置づけを明確にするほか、点検評価で出された事項も議論するなど工夫をしてください。
- ・教育委員会の会議録の、情報公開については工夫のあとが見られ評価できるが、これからは、広報紙の発行なども検討し教育委員会の活動内容を報告してください。
- ・教育委員の自己研鑽では、委員長はじめ委員の皆様が積極的に学校訪問等を通して、学力、生徒指導などの問題、教職員や児童生徒とふれあい意見交換等、現状把握に努めているが、その反面教育委員長をはじめとする教育委員や教育長、教育委員会事務局との連携が不足しているように思えるのでもっと連携に努めてください。

2 教育委員会が管理・執行する事務

[目標]

議案を研究・精査し、適切な処理に努める。

(1) 市教育行政の教育目標を定めること

平成22年度で見直し作業を進め、今年度に、平成23年度から平成25年度までの3カ年の新たな教育目標を定めてスタートした。

評価

A

(2) 学校その他の教育機関の設置、廃止及び変更に関すること

平成24年3月31日をもって坂手小学校を廃校とする。

評価

(3) 教科書その他の教材の取り扱いに関すること

3回の調査員会議を経て、その調査結果を採択協議会で審議し、適正な教科書採択業務を行った。

評価

A

(4) 教職員の人事に関する基本方針に関すること

三重県教育委員会の方針に基づき配置がなされた。
平成24年度鳥羽市教職員人事異動基本方針を定めた。

評価

(5) 事務局及び学校その他の教育機関の職員の任免その他人事に関すること

開催日程	議案
平成23年第4回定例会（H23.4.26）	鳥羽市公民館長及び主事の解任命について
平成23年第4回定例会（H23.4.26）	菅島コミュニティアリーナ館長の解任命について
平成23年第6回定例会（H23.6.24）	鳥羽市公民館主事の解任命について
平成23年第3回定例会（H23.3.26）	鳥羽市社会教育指導員の任命について

評価

(6) 委員会の規則等の制定又は改廃に関すること

規則、規程等の制定及び一部改正を行った。

規則...鳥羽市教育委員会公印規則の一部を改正する規則 他10件

規程等...鳥羽市が設置する公の施設からの暴力団排除措置要綱の制定について 他1件

評価

A

(7) 主な工事の執行及び計画に関すること

【執行に関すること】(工事、設計業務委託のみ計上)

小学校建設事業：317,537,500円

工事名・委託名	金額
弘道小学校校舎新築工事監理業務委託	3,307,500円
弘道小学校用地造成に伴う測量設計業務委託	119,700円
弘道小学校校舎新築工事	195,636,000円
弘道小学校屋外環境整備工事〔用地造成〕	8,372,700円
弘道小学校屋外環境整備工事〔防球ネット移設等〕	7,719,600円
弘道小学校屋外環境整備工事〔グラウンド整備〕	5,300,000円
弘道小学校既設校舎解体工事	23,251,200円
弘道小学校案内標識設置工事	864,150円
加茂小学校校舎建設工事設計業務委託	22,966,650円
加茂小学校校舎建設工事	50,000,000円

文化財収蔵展示施設の設置事業：69,296,850円

工事名・委託名	金額
登録旧広野家住宅主屋建造物保存修理改修工事	69,296,850円

【計画に関すること】

平成24年度に行う予定の工事は下記のとおりです。

工事名(設計費含む)	予算額又は設計額
加茂小学校校舎建設工事(H23~H24)	476,595,000円
加茂小学校プール建設工事	128,440,000円
加茂小学校屋外環境整備工事(グラウンドほか)	60,000,150円

平成25年度以降の計画

年度	対象
平成25年度~平成26年度	神島小中学校新築(複合化案)
平成26年	各学校大規模改修工事(設備関係ほか)

市内小中学校の耐震化については、耐震化計画(改築含)をもとに耐震化率100%に向け計画どおり進めているところであり、今後は加茂小学校校舎、神島小中学校校舎(複合施設)の建設を進めて行く。また老朽化した建物及び設備関係の大規模な改修を進めるとともに、併行して施設の統廃合に向けた計画作成等を進めて行きたい。

廃校施設の利活用については、旧小浜小学校を公民館等に改修するとともに、旧国崎小学校についても福祉関連施設への用途変更について関係課との協議を進めている。

評価

B

(8) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (昭和31年法律第162号)
第27条第1項の規定による点検及び評価に関すること
平成23年度中に平成22年度実績の点検及び評価を実施した。

評価

教育委員会が管理・執行する事務に対する意見

・教育委員会が管理・執行する事務については一歩、一歩前進していると思う。また、3カ年の教育目標がスタートしたことはよいが、前年度までの課題、反省を教育委員会の定例会等において議論した経過が見えてこないほか、その内容をどう現場 (学校、家庭等) に反映しているかが不明確である。

・教職員の人事基本方針を定め実行してほしい。ここ数年市内と市外の人事交流が停滞しているように思う。また、管理職 (校長) に女性を登用することも大切である。

3 管理・執行を教育長に委任する事務

A 学校教育目標

[目標]

自ら学び、考える力をもつ子どもの育成

授業(保育)を工夫・改善し、基礎・基本の力の定着を図ります。

子どもの実態を把握し、個に応じた指導をすすめます。

自ら課題を見つけ解決し、社会の変化に主体的に対応できる子どもの育成を図ります。

自らの将来や生き方を考えるキャリア教育をすすめます。

[取り組みの概要]

幼稚園・小中学校を訪問し、授業(保育)研究に参加し、各校園において、指導方法、授業改善等について助言し、指導力の向上を図った。

指導主事要請訪問回数・・・のべ71回

基礎学力向上研究会を開催し、各校の学力向上に向けての取組の交流を行ったり、授業公開をとおして授業力改善を図る話し合いの機会を持ったりした。

委員会開催回数・・・年3回

2人の外国語指導助手(ALT)が、幼稚園・小中学校を巡回し、英語や外国語活動の授業を行った。子どもたちの英語によるコミュニケーション力を高めることができた。

派遣回数・・・1学期150回、2学期166回、3学期114回・・・のべ430回

鳥羽市教育委員会指定の研究会を行った。(指定校 鏡浦小学校、神島中学校)

三重県教育委員会と連携して、キャリア教育の推進のために、キャリア教育講演会を開催した。

支援の必要な幼児児童生徒に対して巡回相談を行ない、適切な指導・支援法について助言をしていただいた。また、各校の特別支援教育コーディネーターに対して、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援ができるよう研修会を行った。

巡回相談員派遣回数・・・のべ33回

特別支援教育コーディネーター研修会・・・年3回

のべ71回の要請訪問を行った。それらの中で、授業(保育)力の向上を目指して、学校(園)全体で取り組むことの大切さを広げていくよう助言してきた。結果、学校全体で取り組むことの大切さが広がってきている。今後も、学校(園)全体の取り組みとして、授業力向上、家庭学習の定着、子ども理解等について助言し、授業力の向上、学力の向上を図る必要がある。

ALTについては、小学校での外国語活動の充実を図る上で、各校において取り組みが進んでいる。日程調整では、学校によって回数の差が少なくなるよう配慮した。

基礎学力向上研究委員会を年3回開催した。1回目はCRT学力検査の分析方法について交流し、2回目は有識者を講師として招聘し、加茂小学

校にて国語科の授業公開を通して、授業力改善、国語科の小中の教科の系統性について、小中間の交流を行った。23年度は初めて各校の学力向上への取り組みをまとめ、冊子を作り、3回目において各校の取り組みの交流を行った。各校の取り組みの交流については有意義な機会となっている。次年度は、算数科において、小中の系統性について考える必要がある。また、まとめの冊子については、各校の取り組みの参考になるので、次年度以降も作成していく。

鏡浦小学校研究発表会では、「かかわり合う力・つながり合う力を育てる」ことを目標にし、国語科説明的文章を通して、どの子にも解りやすい授業を目指した取り組みを発信していただいた。

昨年度に引き続き、今年度も特別支援教育の推進を図った。すべての学校（園）において特別支援教育への関心が高まっている中、専門性の高い巡回相談員、特別支援学校支援部教諭に巡回相談、及び校内委員会にて講義、助言等を行なっていただいた。また、各校（園）に配置されている特別支援教育コーディネーターを対象に研修会を年3回開催し、その資質の向上を図った。今後は、保幼小中及び高校との連携強化を図っていく必要がある。

評価
B

[目標]

豊かな心をもつ子どもの育成

生命と環境を大切にすることを育てます。

人権尊重の意識と実践力を養い、人権教育を推進します。

家庭・地域と連携し、規範意識の育成を図ります。

文化・芸術に親しませ、豊かな感性や情操を育みます。

[取り組みの概要]

人権教育を推進するために、鳥羽市人権教育推進委員会（年間4回開催）、人権教育講演会を開催し、人権に関する意識・態度・実践力を養う活動を実施した。

また、小学校・中学校それぞれ人権フォーラムを開催し、児童生徒が各校での人権教育の取り組みを交流し、人権問題に対する認識を深めた。

鳥羽志摩人権教育実践交流会を答志小中学校にて開催し、授業研究を中心とした人権教育の推進に努めた。9年間の「育ちのリレー」を意識し、人権学習の系統性をもち、小中連携の大切さを啓発する機会となった。

海の博物館、清掃センター等の見学・体験をとおして、生命と環境を大切にしようとする意識付けを行なった。

小中学校それぞれで音楽祭を開催し、各校での音楽活動の成果を発表し、学校間の交流と児童生徒の音楽への関心を深めた。

人権教育講演会では、日常の作文指導の充実を図るために、「生活綴り方」を用いた作文指導について学んだ。小学校・中学校人権フォーラムでは、作文発表の後、参加した児童・生徒より感想や自分の経験したことなど多くの

発表があった。フォーラムで学んだことについては、各校において還流報告をしていただいている。今後も、人権への意識の向上を目指し、また児童生徒間交流の有意義な場であるにとらえ、人権フォーラムを続けていきたいと考えている。

答志小中学校の実践交流会では、小中の連携を大切に、何度も会議や授業研究を合同で行い、9年間の系統性をもち、取り組みを進めることができた。今後も、各中学校区において、さらに連携して取り組むことができるように支援していく必要がある。

音楽祭は、各校での音楽活動の成果の発表の場となっているだけでなく、学校間交流の場にもなっており、芸術分野での交流は他にはないことから今後も大切な機会としたい。

評価

B

[目標]

健やかな心身をもつ子どもの育成

家庭と連携し、基本的な生活習慣の確立と食育の充実を図ります。

「こころ」「からだ」「いのち」を相互に関連させながら学ぶ教育の充実を図ります。

運動を楽しむ意欲をもたせ、十分な運動量を確保する授業や活動の充実を図ります。

[取り組みの概要]

食育計画に基づき、食育担当者を中心に、栄養教諭、養護教諭等が保護者と連携を図り、子どもたちの家庭における食生活やアレルギー疾患に関する個別相談・指導を行った。また、栄養バランスなど調和のとれた学校給食を提供し、児童・生徒の心身の健全な育成に寄与した。

食材について地元の生産者と連携を図りながら地産地消の推進に努めた。

小学校1校、中学校4校にスクールカウンセラー、小学校2校、中学校2校に心の教室相談員を配置した。児童・生徒・保護者・教職員に対してカウンセリングを行った。

全ての小学校・中学校において、新体力テストを実施した。児童・生徒の現在の体力の状況や運動習慣等の状況を把握し、各校において重点的に取り組む課題を決め、年間を通して取り組みを進めた。

子供たちへの食育指導を行い、安心・安全な学校給食の充実に努めた。地産地消については、今後も地元の生産者や関係機関と調整を図り、推進していく。

スクールカウンセラーについては、子どもだけでなく教職員や保護者の相談についても対応した。心の教室相談員については、多くの子どもの姿を見る中で、相談活動や支援を行うことができた。

全小中学校において新体力テストを実施し、児童生徒には結果を個票にして配布した。また、各校においては、児童生徒の状況把握を行った後、運動能力向上を目指した取り組み目標を設定していただいた。来年度以降も個票の配布により、児童生徒の意識向上と、学校による実態把握、指導改善による児童生徒の体力向上を図りたい。

評価

B

[目標]

信頼される幼稚園・学校づくりの推進

子どもたちの安全・安心の確保を図るために危機管理体制や施設設備の充実を図ります。
地域の「ひと・もの・こと」を生かし、「ふるさと」を大切にする教育活動を推進します。
学校評価の充実を図り、開かれた園・学校づくりをすすめます。
保・幼・小・中・高の連携をすすめ、鳥羽市の将来を担う人材の育成を図ります。

[取り組みの概要]

学校危機管理マニュアルの見直しを行い、教職員の危機管理意識の高揚と危機管理体制の確立を図った。学校、保護者、地域、関係機関等と連携し、震災等の災害に対応する防災訓練を行った。

また、施設・設備に関する定期的な点検等により未然防止に向けた取り組みを行った。各学校において、校外学習や地域と連携した特色ある学校づくりの取り組みを行い、児童・生徒が「ふるさと」を大切にする心や活力を引き出す学校づくりを行うことができた。昨年に引き続き、各学校に学校評議員を配置し、保護者や地域住民等による学校評価の推進に努め、学校運営の質の向上を図った。

途切れのない支援体制の構築をめざし、就学・進学時には、総合子ども相談との連携のもと、支援の必要な児童生徒の引継ぎ会を行った。また、授業（保育）公開をとおして、各所属の職員が幼児児童生徒の実態把握に努めた。

防災教育が重要であることから、地域・家庭・学校が連携しながら防災訓練などを行い児童生徒の意識向上を図る必要がある。

特色ある学校づくり事業については、学校・地域と連携し、児童・生徒のさらなる活力の推進を図りたい。総合子ども相談とばっ子サポートセンター「ほっぷ！」の指導のもと、保幼小中の引き継ぎを丁寧に行なった。幼児児童生徒の実態把握についても、ほっぷ！との連携のもとに行なった。

今後は、各校（園）への巡回相談についても、ほっぷ！をはじめとする他機関との連携を図る必要がある。

評価

B

管理・執行を教育長に委任する事務に対する意見（学校教育に関すること）

・学校教育目標達成のために、指導力の向上、基礎学力の向上への積極的な取り組みが図られており、努力のあとが伺える。しかし、学力向上に向けた取り組みについてはC R T学力検査などの結果や状況、内容分析などの報告がなされていない。また、教育委員会としてどのような様に取り組みを強化するのか、具体的に示したうえで学校経営に反映してください。

・豊かな心をもつ子どもの育成への取り組みは実践の後が見られ評価できる。特に、ALTについては効果を上げていると感じられるが、キャリア教育なども含め、現在どのような成果が得られているのかの記述や報告がなく不透明である。このため、教育委員会としてどのような方針で行くのか示す必要がある。

・体験学習などの機会を活用して国県市指定の文化財や地域の歴史、文化に関心を持たせる教育を充実させているほか、生命と環境の大切さを育てているのは、評価できる。

・健やかな心身をもつ子どもの育成では、学校給食において地産食材の活用が図られるなど栄養バランスやおいしい学校給食を目指している点が評価できる。しかし、体力向上面については、テレビゲームなどに夢中になる児童、生徒が増加傾向にあることから、身体の健全な育成を図る活動を向上させるとともに児童、生徒のコミュニケーション能力の育成を目指してほしい。

・危機管理体制の確立については計画実践の途上にあると思うが、通学路点検や地震・津波等の避難訓練を地域住民と連携し実施するとともに、特に、防災教育については重要であると考えるので、地域、家庭、学校が連携しながら、充実させる努力をしてください。また、通学路においては、（バス、電車、徒歩、船、自転車）関係機関と連携を強め子どもたちの安全を確保するほか、地震、津波の避難場所等を明示する標識を地域と協力しながら整備してください。

・学校給食については市内全部の小中学校で実施されているので、これからは幼稚園についても給食を実施できないか研究をしてください。

・各学校の学校評議員との連携や活動、意見、考えなどが教委で把握されていないように思えるので、教育委員、教育長が学校評議員との連携を強めながら、地域の状況等をもっと把握してください。

B 生涯学習に関すること

(1) 社会教育の推進

生涯学習の推進（公民館事業）

[目標]

公民館等を活動拠点に、生涯にわたり「いつでも・どこでも・だれでも」学ぶことが出来る機会を作り、市民一人ひとりが仲間と楽しく学びながら生きがいを持ち、いきいきと充実した生活をおくる社会を創る。

[取り組みの概要]

【生涯学習事業】

生涯学習講座開催数（講座数：19講座 / のべ参加人数：1,471人）

生涯学習成果発表会や文化協会との共催による文化祭を開催し、芸術・文化に接する機会を設けた。また、夏休み親子陶芸・押し花・フラワーアレンジメントなどの体験教室や、答志町において出張ガーデニング教室を開催し、地域との交流を図るとともに芸術文化・学習活動を推進した。

・生涯学習講座作品展（於：市民文化会館 / 期間：平成23年11月3日～11月4日）

・生涯学習成果発表会（於：市立図書館 / 期間：平成24年3月15日～3月22日）

公民館数：27公民館

地区公民館では、健康体操・太極拳・ヨガ教室等を企画し、地域の健康作りを推進した。また、絵手紙や日本舞踊等の趣味講座、地区主催の文化祭を実施するなど芸術文化・学習活動を推進した。

新成人で実行委員会を組織し、新成人自らの手で成人式を開催することで若者の自主性を引き出し、感動的な新しい門出を祝福することが出来た。

・成人式（平成24年1月8日 / 参加者数：190人）

鳥羽市マリン文学賞の一環として県内の小学生（5・6年生）・中学生を対象に海の香りのする詩を募集し、作品の中から大賞・入賞・奨励賞と「伊良子清白の家」が開館したことを記念して、創設された伊良子清白賞の選考を行った。また、鳥羽市民文化祭において、市内小中学校の大賞受賞者を表彰し、作品の朗読を行い、入賞作品詩集を作成し、その榮譽を称えた。

・海の香りのする詩応募作品：総数1,290点（小学生の部：348点、中学生の部：942点）

人材育成講座「地球塾」では、10年という節目の年であり、御木本幸吉が残した語録を紐解き魅力のある人物像や考え方、影響を受けた人物について1年を通じて学習した。

少年探偵団の10年の歩みをまとめた冊子を刊行した。

補助金を交付し、社会教育団体等の育成に努めた。

（市文化協会、市小中学校PTA連合会、市婦人会連絡協議会、市子ども会連絡協議会、市青少年育成市民会議、鳥羽恐竜研究振興会、郷土史会）

生涯学習講座では、自分の興味にあった講座を選び、仲間と一緒に楽しく学ぶことが出来るように様々な事業を行った。急激に進行した高齢化社会になったいま新たに趣味をみつけ、地域の人との交流を持つきっかけの場となっている。

また、参加者の自主クラブ活動への支援や、これまで中央公民館で実施す

る講座に参加しにくい離島での出張講座も開催した。

今後、地区公民館の生涯学習活動状況の地域差解消のため出張講座の実施に積極的に取りくみ、地域での自主的な活動の促進につなげる。

評価

B

生涯学習の推進（放課後子どもプラン）

[目標]

放課後子ども教室で、文化活動・スポーツ・地域との交流活動等の様々な体験活動を子どもたちと地域住民が交流する機会を提供することにより、地域社会全体で子どもたちを見守る意識を高め、心豊かで健やかに子どもたちが育まれる環境づくりを推進します。

[取り組みの概要]

子どもたちの安心で安全な放課後の居場所（活動拠点）づくりとして、放課後子ども教室の運営方法や実施計画について運営委員会において協議を行った。

放課後子ども教室では、様々な活動を異学年の子どもたちが協力し合って一緒に体験することや、地域の大人との交流により豊かな心を育む場として学校の空き教室・体育館等を利用し様々な体験活動を実施した。今年度の教室では、東日本大震災があったこともあり教室の内容も防災教室・福祉体験教室や助産師の先生の話聞く学習会など、子どもたちの防災意識の向上や命の大切さを学ぶ機会を増やした。

安楽島小学校区では放課後児童クラブの職員と一緒に活動する機会を持ち相互に連携体制を取りながら事業を行った。

放課後子ども教室事業が、少子化や共稼ぎ家庭の増加により、地域との関わりが希薄になっている子どもたちと地域の人たちとの交流の場でとなっている。この事業の推進には、地域で活動する団体や地域の方々が活動しやすい環境づくりとネットワーク作りを行い、この事業に継続して関わるボランティアの養成が必要である。

評価

B

青少年の健全活動を推進

[目標]

地域社会の中で、健やかな青少年を育てるため、青少年サポートセンターを中心に学校現場、警察および関係諸団体と連携を図り、青少年の非行防止と健全育成を目指します。

[取り組みの概要]

青少年育成指導活動の一環で、イベントや祭りの開催時、夏季休暇中には各種団体と連携して合同街頭指導や夜間パトロールを行い、週3回は下校時に指導を行った。また、月2回市内教諭等と合同で、不良行為の行われやすい場所、危険箇所を重点的に巡回指導した。青少年育成活動として、青少年育成市民会議や諸団体と連携し、各種事業を行った。

- ・青少年育成市民会議と連携し、新春風揚げ大会を開催した。
(平成24年1月3日 / 参加人数: 200人)
 - ・スポーツ少年団等諸団体と連携し、子どもフェスティバルを開催した。
(平成24年3月3日 / 参加人数: 250人)
 - ・地域では、学校、青少年育成会など関係諸団体が連携し、地域の特色ある育成活動、安全活動を実施した。
- 「青少年を守る店」運動の推進、関係諸機関と連携し、清浄な地域環境づくりに努めた。青少年や家庭の悩みの相談窓口として、常に応じるよう体制を整えている。青少年サポートセンター、学校、警察等関係諸機関と連携し、青少年の健全育成啓発を行った。
- ・JT喫煙防止キャンペーン、社会を明るくする運動、全国青少年健全育成月間時の大型店や駅前での啓発物品配布や非行防止呼び掛けを行った。
 - ・青少年に関係する種々のイベントや市のイベントへの参加、啓発活動を行った。

青少年指導活動では、青色回転灯による巡回パトロールと、月2回程市内の学校とも連携し合同指導を行った。

今年度の状況は、鳥羽署管内における青少年の補導件数は減少したが、刑法犯少年増加しており引き続き、行政・警察・学校が今後も、街路指導を行うことにより、青少年が安心・安全に過ごし、また非行の芽を摘み取るため、更に連携を密にし啓発を行う必要がある。

子どもたちの健全育成等の活動については、地域の育成会や学校での活動が盛んに行われておりサポートセンターとしても積極的に参加・協力していく。

評価
B

文化活動の振興、文化財の保護

[目標]

地域に密着した芸術・文化環境の育成や、市民が芸能・文化に触れることのできる環境づくりの推進を目指すとともに、文化財・伝統文化といった歴史・文化遺産を後世に伝え残していくために、文化財及び調査に努め文化財の保存及び郷土学習の推進を図る。

[取り組みの概要]

【文化活動の振興】

鳥羽市文化協会と連携し、文化祭を開催した。

- ・今年度は、三田市との友好都市提携を記念して三田太鼓を披露していただき大変好評であった。

(平成23年11月3日、4日 / 参加人数: 約1,000人)

伝統文化継承活動の奨励として、能楽保存会のほか、文化振興活動の奨励として答志青年団、鳥羽・長尾オルガン協会、鳥羽郷土史会の3団体に活動助成を行なった。

【文化財の保護】

新規市指定文化財への指定(6件)

- ・門野家資料(歴史資料)
- ・稲垣家文書(歴史資料)

- ・九鬼嘉隆像 短刀 銘信國（伝九鬼嘉隆小刀）（工芸）
- ・隠殿岡の石造物（3基）（史跡）
- ・今浦の大ケヤキ（天然記念物）（平成24年3月1日）

文化財の保護・整備

- ・鳥羽城跡本丸の説明版の設置
- ・旧広野家住宅主屋修理（平成23年11月～平成24年9月）
- ・旧鳥羽小学校耐震診断

歴史文化の発掘・調査

- ・鳥羽城跡斜面崩落石垣の調査（平成23年6月）
- ・鳥羽城跡（第6次）発掘調査（平成23年6月～11月）
- ・鳥羽城跡石垣測量調査（平成23年6月～12月）
- ・賀多神社能舞台破損調査（平成23年2月）

紹介資料の刊行

- ・「鳥羽市の文化財」冊子・パンフレット刊行（平成24年3月）

歴史資料整理事業

- ・緊急雇用創出事業により、歴史資料を整理し目録を作成しデータベース化し『宮瀬規矩宛伊良子清白『白鳥』自筆原稿』を刊行した。

伊良子清白の家活用事業

- ・緊急雇用創出事業により、伊良子清白の家の管理・来客対応などを行なったほか、パンフレットの作成を行なった。

文化財環境の整備

- ・市指定文化財4件の整備事業補助を行った。
（賀多神社、坂手アヤメ池周辺、九鬼嘉隆胴塚・首塚周辺、桃取ヤマトタチバナ）
 - ・文化財防火デーでは消防本部と連携し、立入検査を行った。（平成24年1月23日～27日）
- 文化財調査委員会（年3回）、志摩文化財保護委員会総会（1回）を実施した。

歴史文化ガイドセンター事業

2回の特別展を開催し、本市の歴史・文化を市民及び観光客に広く紹介するよう努めた。

- ・九鬼嘉隆展（平成23年4月1日～9月30日）
- ・答志島『大築海海人』展（平成23年9月17日～平成23年10月24日）

文化振興については、市民文化祭に市老連・生涯学習講座受講者の参加など、美術作品の充実を図った。音楽芸能は新たな参加団体が増え、三田太鼓の公演もあり盛況であった。今後は、日舞とそれ以外の団体と固めずにバラエティに富んだプログラムへの改善が必要である。

旧広野家住宅の改修事業は、平成22年度に内蔵の修理を行なったが、平成23年度は母屋の修理保存工事を実施し、24年度は米蔵・便所・外壁の保存改修工事を実施予定である。

鳥羽城跡の発掘調査を平成23年から3ヵ年計画で実施し、建設課が行っている、まちづくり事業による城山整備とも連携し、鳥羽城の調査、整理、啓発を進め市民の鳥羽の歴史文化への関心を高めている。また、鳥羽の歴史を紹介したコラムを広報とばの継続掲載やホームページを活用し市内外への情報発信を積極的に行った。

評価

B

図書館事業の推進

[目標]

こどもからお年寄、身体に障がいのある方やどこの地域に住んでいる人でも同じように図書館サービスを受け入れることができる体制を整えるとともに、「利用者のための図書館」にしていくため、読書普及活動の進展・育成を図り、文化活動の援助・情報提供に努める。

[取り組みの概要]

図書館年間利用者数：98,731 人 / 年間貸出冊数：116,064 冊

月曜日が祝日の場合は翌日も開館し、7月～9月のみ水曜日も時間延長を行った。

毎月テーマを決めて「おすすめ本コーナー」を設置し、読書の推進・啓発を行った。

「子ども読書活動推進計画」初年度事業として「わらべうたとおはなし会」講座を三重県生涯学習センターと共催で開催した。

(開催日：平成23年5月14日 / 講師：山口陽子氏)

ストーリーテリング講習会を開催した。(開催日：平成23年5月24日、31日、6月7日 / 講師：元津おはなしの会マザーグース代表 下澤いづみ氏)

「絵本と子育て」講演会を開催した。

(開催日：平成23年9月29日 / 講師：元かもめ幼稚園園長 矢野政子氏)

「古文書解説いろは」講座を開催した。(開催日：平成23年10月21日、11月18日、12月16日、平成24年1月13日、2月17日 / 講師：三重県立博物館 主事 太田光俊氏)

職員による「ブックトーク」を行った。(実施日：毎月1回程度第3土曜日 / 場所：図書館) 読み聞かせボランティア(稲穂会)による「絵本と紙芝居の読み聞かせ」を行った。

(実施日：毎月2回第2土曜日、第4日曜日 / 場所：図書館)

ボランティア(おはなしの会ミルキーウェイ)と職員による「おはなし会」(ストーリーテリング)を行った。(実施日：毎月1回第1土曜日 / 場所：図書館)

おもにボランティア(矢野政子氏)による「赤ちゃん絵本の読み聞かせ」を行った。

(実施日：毎月1回第4金曜日 / 場所：図書館)

ブックスタート事業を実施し、7ヵ月児健康相談時(健康福祉課主催)に乳児とその保護者を対象に、ボランティアと職員で絵本の意義の説明等を行った。

(実施日：毎月1回第4水曜日 / 場所：健康福祉センターひだまり)

とばっこカードによるプラス10冊貸出を実施した。

夏休み行事

・夏休み小学生おはなし会

(開催日：平成23年7月22日 / 講師：津おはなしの会マザーグース)

・おりがみ教室(開催日：平成23年7月28日 / 講師：図書館職員)

・手づくり絵本講習会(開催日：平成23年7月29日、30日 / 講師：杉谷眞由美氏)

「夏休み!読書をしよう!!」展でテーマ、学年別に図書を展示し、またそれぞれの推薦図書リストを作成した。

おりがみ教室(開催日：平成23年12月17日 / 講師：図書館職員)

冬休みおはなし会(開催日：平成23年12月22日 / おはなしの会ミルキーウェイ)

春休みおはなし会(開催日：平成24年3月23日 / おはなしの会ミルキーウェイ)

マジック教室(開催日：平成24年3月24日 / 講師：橋本七美氏)

大人のためのおはなし会(開催日：平成24年2月28日)

ボランティア(おはなしの会ミルキーウェイ)と職員による大人対象のおはなし会

図書館だより「ブックフレンド」を発行した。(毎月発行)

「鳥羽市立図書館ベストリーダー」を発行した。(季刊)

文化講座(絵画・書道・短歌・俳句・詩)の開催

- ・ 絵画講座(実施日:毎月1回第4木曜日/講師:野村昭輝氏)
- ・ 書道講座(実施日:毎月1回第2木曜日/講師:近藤翠山氏)
- ・ 短歌講座(実施日:毎月1回第4木曜日/講師:喜多さかえ氏)
- ・ 俳句講座(実施日:毎月1回第1木曜日/講師:増田河郎子氏)
- ・ 詩講座(実施日:毎月1回第3木曜日/講師:渡辺正也氏)

本のリサイクルフェア(年2回)

- ・ 図書館で保管期限が過ぎた雑誌類や個人等から寄付されて、図書館の蔵書と重複している書籍類のリサイクルを行った。

(実施期間:5月12日~6月7日、10月13日~11月8日)

資料展・展覧会(10回)

- ・ 「東北を知ろう!展」や「原爆と人間展」などを開催した。

職業体験学習・社会見学の受入

- ・ 職業体験:中学校5校・8名・のべ8日間
- ・ 社会見学:2校24名

図書館において、例年実施している読み聞かせや、ブックスタート事業などの活動は継続して実施できた。「鳥羽市子ども読書活動推進計画」の初年度にあたり、特別行事の開催・夏休み読書の推進、学校への団体貸出の推進に努めた。

新しい取り組みとしては、7月に図書館情報システムを更新し、WEB検索を取り入れ、遠隔地のかたや来館しなくても図書館の蔵書検索が自宅からできるようにした。(WEB検索アクセス件数24,411)また、インターネット予約の準備に努めた。

今後も事業の継続活動を基本に、市民のニーズに応えた新しい文化の創造と情報提供に努め、人材の育成につながる事業の充実を図りたい。

施設面については、1Fトイレの洋式化、障害者用トイレにオストメイト設置工事が実施された。

評価

B

人権教育の推進

[目標]

鳥羽市人施策基本方針及び鳥羽市人権基本方針の基本精神のもと、社会教育活動を通じて、人権問題の本質を正しく認識し、その解決に向けて努力する市民の育成に努める。

[取り組みの概要]

市民の人権意識の高揚を図るため、啓発事業を行った。

- ・ 鳥羽市人権教育研究協議会や、行政・学校・地域団体が連携し、講演会や学習会を実施した。
- ・ 「広報とば」に人権啓発コラムを市民課と協働で掲載し、市民の人権意識の向上を図った。

人権教育推進事業の実施

- ・各学校等や関係団体と連携して講演会や研修会等を実施し、人権意識の高揚を図り、人材育成へ努めた。（開催数：14回／のべ参加人数：1,368人）

人権教育の研究、研修への取り組み

- ・鳥羽市人権・同和教育研究協議会等の活動計画に基づき、研究・実践を深めた。
- ・担当者研修会への出席

人権推進事業では、語りと歌で聴く人権歌語りやハーモニカ演奏、狂言鑑賞等をまじえながら、子どもたちや保護者等にも分かりやすい内容で講演会や学習会を実施し、好評であった。

市民課、人権擁護委員と連携し答志地区において一日啓発事業として、「人権の夕べ」を企画し、小・中学校・高齢者施設等で幅広い年齢層の地域の方を対象に実施した。

人権教育推進事業が人権施策の主たる活動であることから参加者、内容の多様化を図った。また、地域の拠点・発信源となっている学校と連携し、本事業を展開することで人権感覚あふれる地域づくりに役立つことが出来た。今後は、市民団体・企業・青壮年層への働きかけなどにも努力地域ぐるみで考え、取り組めるよう人権意識の推進を図りたい。

評価

B

(2) スポーツ活動の推進

生涯スポーツの推進

[目標]

市体育協会、市体育指導委員の活動を支援し、生涯を通じて運動に親しむ意識や能力の養成など、市民一人ひとりが手軽に楽しめるスポーツの振興のための環境および体制づくりの推進に努める。

[取り組みの概要]

市内小学校、鳥羽志摩中学校相撲大会を開催した。

（小学校…平成23年6月25日／参加選手：139人

中学校…平成23年6月11日／参加選手：80人）

各種スポーツ教室を実施した。

（水泳：3回、障がい者：12回、スキー：3回、巡回スポーツ教室：2回）

市民大運動会を開催した。（平成23年10月8日／参加者：1,700人）

市民体育大会を開催した。

（平成23年7月3日～平成23年12月26日／開催種目数：18種目）

伊勢志摩中日ウォーク大会を中日新聞社と共催した。

（平成23年12月4日／参加者：1,400人）

美し国三重市町対抗駅伝に選手を派遣した。

（平成24年2月19日／参加29市町中16位、タイム2時間34分04秒）

子どもフェスティバルを各種団体と共催した。（平成24年3月6日／参加者：300人）

鳥羽市スポーツ優秀賞の表彰を行った。

（平成23年11月6日／表彰者数：団体優秀賞6団体、個人優秀賞27名）

補助金を交付し、団体育成に努めた。

(市体育協会、市スポーツ少年団、市武道振興会、長岡スポーツ文化クラブ)
補助金を交付し、小中学生のスポーツ大会派遣を支援した。

(市小学校体育研究会、市小学校校長会、市中学校体育連盟)

各種スポーツイベント等を開催し、市民にスポーツに親しむ多様な機会を提供できた。また、体育指導委員が考案した3色(触)パレーでの巡回教室を行うとともに、スポーツイベントの企画運営に積極的に参加し、「する」スポーツだけでなく、「みる」スポーツ、「支える」スポーツにより市民の健康増進と連携・協働の推進を行った。今後は、地域のスポーツ活動を推進していくために、体育指導委員が地域からの要請による出前スポーツ教室を開催し、生涯スポーツの推進を図りたい。

スポーツ団体においては、ジュニア世代での全国大会入賞及び出場、さらには国際大会に出場するなど競技力の向上が図られているが、自主事業の充実及び組織強化を図り、スポーツ推進を図る必要がある。

評価
B

スポーツ施設の充実・管理

[目標]

鳥羽市運動施設の充実と適正な維持管理に努め、市民がいつでも、どこでも、だれとでもスポーツのできる場所を提供するなど、施設の活用に努める。

[取り組みの概要]

鳥羽市運動施設の管理を指定管理者として、財団法人鳥羽市武道振興会に委託した。

(委託施設：市民体育館・野球場・相撲場・庭球場・多目的グラウンド・水泳プール
計6施設/年間利用者数：51,121人)

(指定管理者自主事業：新体操教室10回149名、一輪車教室2回54名)

学校体育施設(屋内運動場及びグラウンド)を登録団体に開放した。

(開放校数：10校/年間利用者数：45,516人)

中央公園運動施設は管理運営を指定管理者に委託し、施設の効率的な運営と利用者に対するサービスの向上に努めた。また、新体操教室、一輪車教室の自主事業の開催及び近隣の大学等へ利用案内を配布した。その結果、バスケットボールなどの同好会、サークル(21校、814名)の新たな施設利用者の拡大に努めた。

今後は新たなスポーツ教室等の企画を提案し、行政放送や広報とばを活用しながら情報発信を積極的に行い、事業展開を図りたい。また市内唯一の運動施設も老朽化が進んでいるため、施設の計画的な整備を進めていく。

評価
B

3) その他

[目標]

その他生涯学習に関する事務、事業の積極的な推進に努める。

[取り組みの概要]

鳥羽市社会教育委員会を開催し、社会教育行政方針や生涯学習・公民館・図書館・歴史ガ

イドセンターの各主要事業についての事業計画の審議、事業の経過報告を行った。

(委員会開催回数：2回)

スポーツ振興審議会を開催し、スポーツ基本法の施行により、鳥羽市スポーツ振興審議会条例の改正内容及び名称、また、鳥羽市のスポーツの推進について協議を行った。

(審議会開催回数：2回)

市民の生涯学習やスポーツへの関心を高めるためにも、外部有識者または専門性の高い有識者の意見を反映し、普及振興を進めていきたい。

評価

B

管理・執行を教育長に委任する事務に対する意見（生涯学習に関すること）

・生涯学習活動は、市民の心と身体の健康づくり、コミュニケーションづくり、歴史・文化の振興や地域住民の活性化につながる重要な役割があると考えます。人口減少、少子高齢化などが進行する中において、多様な行事を少人数で実践している努力は評価できるが、今までの事業内容の見直しや、業務範囲の見直しが、必要であると思う。そのうえで、各種団体との事業の役割分担や住み分けなどを行い連携を図っていく必要があると考えます。

・生涯学習講座については、市民の興味、関心をよく把握し、地域の実態にあった活動内容を実施するなど年々内容が充実している。しかし、活動方法、内容についても新しい講座の開設や講座に参加しやすい環境を整備する必要がある。特に昼の部、夜の部の活動を充実させる必要がある。一方では公民館、図書館で同じ様な内容の講座を開設しており見直しする必要である。

・公民館活動は、地域により活動内容に大きな差があるので、活動状況を館長、主事などに確認し地域の公民館活動を充実する必要がある。

・文化活動では、市民文化祭、生涯学習講座や地域住民に関心をもたせる努力をしながら、各種行事など（成人式、地球塾、少年探偵団）を継続していることは評価できる。しかし、特に地球塾と少年探偵団が先細りになっているので活動自体を行政主導から民間団体や外郭団体に移行する必要があると考えます。

・放課後子ども教室を継続して進めているが、ボランティアの養成ができていないのか不明である。ひとつの提案としてボランティアの養成を生涯スポーツとかぶせて考えてみたらどうか。子どもと高齢者が一緒に関わる事ができるスポーツを考案してみてもどうか。

管理・執行を教育長に委任する事務に対する意見（生涯学習に関すること）

・青少年健全育成活動は非常に重要であるとおもいますが、「市民会議」「青少年を守る店」「家庭の悩み相談」の活動状況や体制などが市民全体に見えていない。活動内容を広報などで周知するほか、関係機関や担当者が各学校等の PTA 活動に出向き、市内の青少年の現状や説明を報告する等の啓発活動をすすめることが大切である。

・歴史文化の専門職員を配置し「海女文化」「伝統文化」「鳥羽城跡発掘」「広野邸改修」等まちの活性化に努力していることは評価できる。しかし、後継者不足などにより各地区の伝統文化が消えていくようだが、この伝統文化をどの様に支えていくのか不透明である。たとえば、「加茂五郷の盆祭」の伝統文化などである。この伝統文化をどの様に支援、再興するか考える必要がある。

また、旧鳥羽小学校の活用計画についても不透明であり、移築された伊良子清白邸や改修工事を行った広野邸など保存後の歴史文化施設の活用方法などについては教育委員会だけで考えるのではなく、市全体で考えるべきである。

・スポーツ関係では、体育協会、体育指導員等それぞれ能力に応じて市民が楽しめるスポーツの振興、充実に努力しているが、体育館をはじめとする運動施設についても老朽化がすすんでいるので長期の施設整備や改修計画を策定するなど将来をみすえた維持管理や活用方法を検討すべきである。

・市民がスポーツに親しむ多様な機会が提供できたとあるが、活動内容が不明確であるうえ、毎年同じ内容のように思える。このため、市民の健康増進と連携・協働が図られているのであれば、「する」スポーツ、「みる」スポーツ、「支える」スポーツ、または高齢者等が楽しむスポーツ、健康づくりのスポーツに参加したのであれば、その内容を表記すべきである。

・各地域が集まって実施する市民運動会については多数の住民が参加できる工夫をはじめ、競技の内容など開催方法などを再度見直しする必要がある。

・スポーツ活動での優良表彰は大変よいが、歴史文化を継承し長く活動している団体や地域や学校での文化活動などでがんばっている各種団体等も表彰すべきである。

・図書館事業は、市民のニーズに応える努力のあとが伺えるとともに、取り組み内容を広報、行政放送テレビなどで紹介しており評価できる。

その他意見

1. 鳥羽市の子育て支援事業について

高校卒業までの医療費無料化に取り組むとのことですが、わが国は高校は義務教育ではありません。医療費無料化は反対ではありませんが、現実問題として、高校を卒業したら鳥羽市を出て行く確率が高いとおもいますので、地元で就職した高校卒業者には公営施設の利用料1年間無料化など、画期的なプランの検討を期待する。

子ども達に対し、学習する事は、自分の為なのである事を理解させる事が大切である。ゆるぎない信念を前面に出し教育に当たればよいのではないか。日本の思いやりのある教育はどこにいったのか？

教育の目的を親と子どもに理解させる事が教育委員会の仕事ではないか。いかに学習の様子を見守り意見を述べるかである。

学校現場で実施しているかも知れませんが、ノートの取り方を教えることも重要である。